

# 大学卒業後～

- 1991 宮崎医科大学医学部 卒業  
宮崎医科大学医学部附属病院産科婦人科 研修医
- 1992 鹿児島市立病院産婦人科 研修医
- 1993 宮崎医科大学医学部附属病院産科婦人科
- 1996 カリフォルニア大学アーバイン校小児科留学
- 1997 宮崎医科大学医学部産婦人科学講座 助手
- 1998 カリフォルニア大学サンフランシスコ校産婦人科留学
- 2000 県立延岡病院 周産期センター
- 2004 宮崎大学医学部産婦人科学講座 助手
- 2007
- 2009
- 2010 同 医学部附属病院総合周産期母子医療センター講師
- 2012 同 准教授、副センター長
- 2016 同 センター長
- 2017 宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座産婦人科学分野教授

## ガムシヤラ時代

- ・睡眠3～5時間、休日なし
- ・病院で1日2食
- ・週3～4日病院泊

臍帯血サイトカイン産生能の研究

日本産科婦人科学会専門医

妊娠ヒツジ胎仔実験

日本周産期・新生児学会(新生児)専門医

学位取得(宮崎大学 医博乙第36号)



オリンピックが開催されていることも知らなかった・・・

# これからの人生、どうする？

---

## 研修医～専攻医時代の先輩女性医師（宮崎・鹿児島）

- 40代 独身1人
- 30代 独身1人、既婚3人（開業1、夫の勤務先へ転居1）
- 20代 既婚2人
- 同期 1人

当時、女性医師は結婚・出産を機に第一線から退いていた。  
出産後も大学病院に勤務していた女性医師はいなかった・・・

# これからの人生、どうする？

---

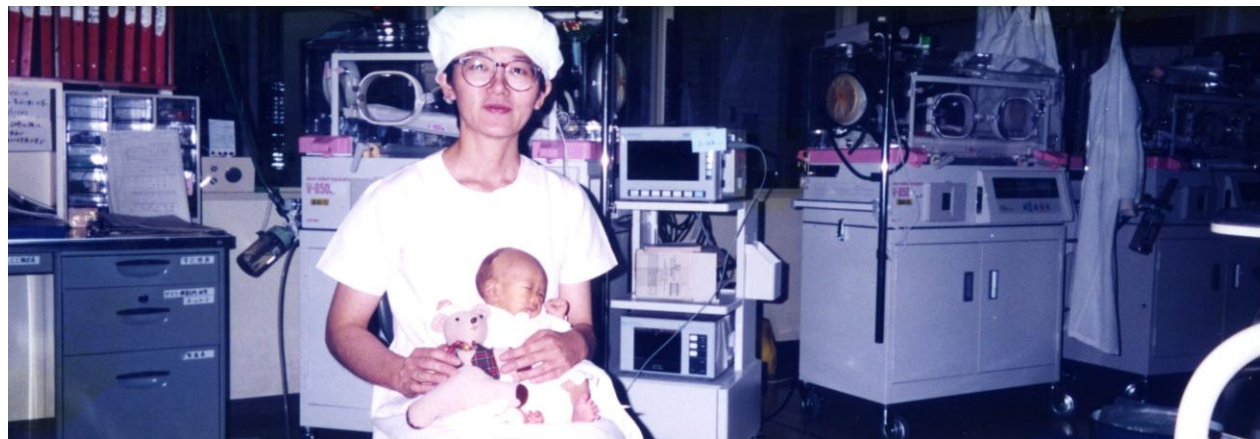
## 研修医時代～専攻医時代の先輩女性医師（宮崎・鹿児島）

- 40代 独身1人
- 30代 独身1人、既婚3人（開業1、夫の勤務先へ転居1）
- 20代 既婚2人
- 同期 1人
- 後輩女性医師は増加（医学部女子数も増加30%へ）

- 第一線で仕事したい！ この仕事を続けたい！
- 同僚や後輩女性医師のサポートをしよう！（当直、診療など）

# 新生児室 (1994年頃)

---



# 新生児医療



私は新生児医療ができる能力やセンスはない……  
と思いながら仕事をしていました。



# 研修医3年目のある時・・・



池ノ上克 前学長

「留学してみる？」

留学とは、偉い先生方がされるもの  
とっていました。

私でも留学できるのですか！！？  
行けるのならいきたいです！！



留学先が米国カリフォルニア州のどこにあるのかも知らずに旅立ちました。

# 大学卒業後（留学時代）

1991

宮崎医科大学医学部 卒業

宮崎医科大学医学部附属病院産科婦人科 研修医

1992

鹿児島市立病院産婦人科 研修医

1993

宮崎医科大学医学部附属病院産科婦人科 医員

1996

**カリフォルニア大学アーバイン校小児科留学**

臍帯血サイトカイン産生能の研究

1997

宮崎医科大学医学部産婦人科学講座 助手

日本産科婦人科学会専門医

1998

**カリフォルニア大学サンフランシスコ校産婦人科留学**

妊娠ヒツジ胎仔実験、産婦人科臨床

2000

県立延岡病院 周産期センター

2004

宮崎大学医学部産婦人科学講座 助手

2007

日本周産期・新生児学会(新生児)専門医

2009

学位取得(宮崎大学 医博乙第36号)

2010

同 医学部附属病院総合周産期母子医療センター講師

2012

同 准教授、副センター長

2016

同 センター長

2017




宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座産婦人科学分野教授

# カリフォルニア大学アーバイン校

カリフォルニア大学アーバイン校

University of California, Irvine



別名	UCアーバイン/UCI
モットー	<i>Fiat lux</i>
モットー (英語)	"Let there be light"
種別	州立大学
設立年	1965年10月4日 (59年前)
上位機関	カリフォルニア大学
所在地	 アメリカ合衆国 カリフォルニア州アーバイン市  北緯33.6454度 西経117.8426度
キャンパス	市中心部
公式サイト	<a href="http://uci.edu">uci.edu</a> 

# UCI

テンプレートを表示



カリフォルニア大学アーバイン校  
メディカルセンター

(Wikipediaより)



# カリフォルニア大学アーバイン校 メディカルセンター



# お世話になった先生

(カリフォルニア大学アーバイン校 留学時)



カリフォルニア大学  
小児科教授  
F. Waffarn 先生

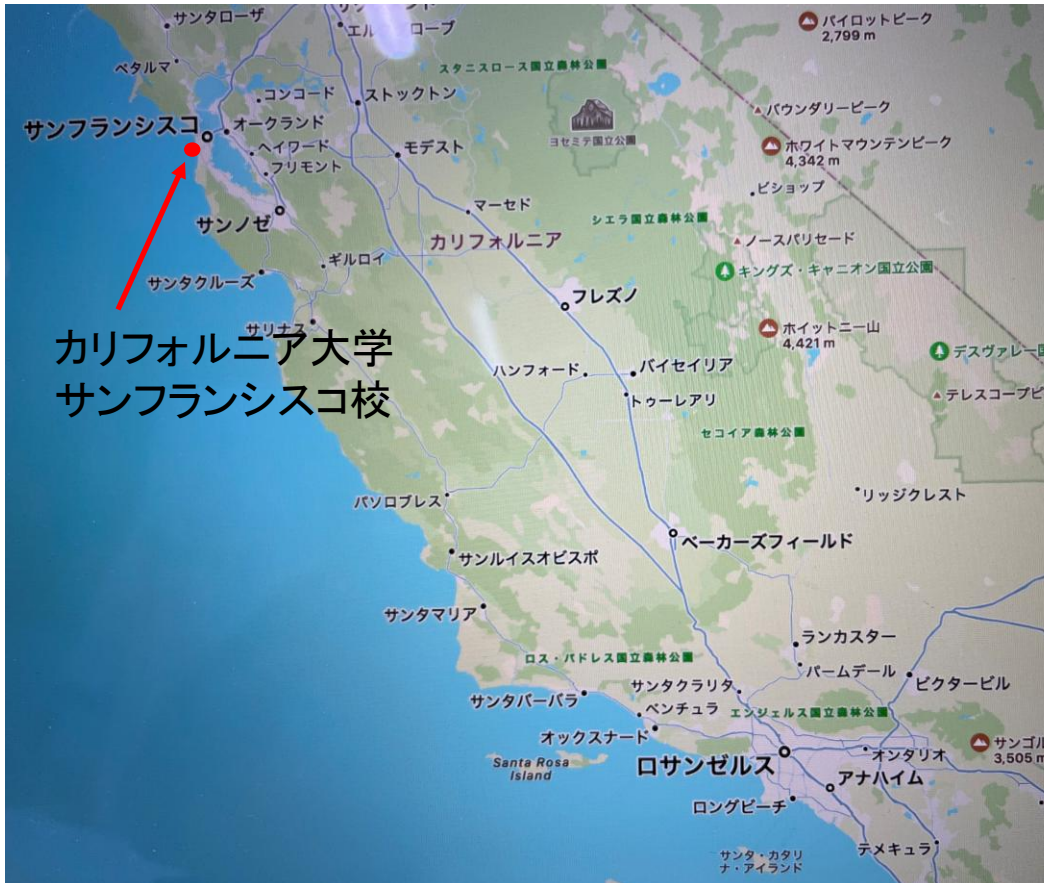


研究室  
M. Bermann 先生



E.J. Quilligan 先生

# カリフォルニア大学サンフランシスコ校



## カリフォルニア大学サンフランシスコ校

University of California, San Francisco



別名	UCSF
旧称	Toland Medical College (1864) The Medical Department of the University of California (1873)
モットー	<i>Fiat lux</i>
モットー (英語)	<i>Let there be light</i>
種別	州立大学
設立年	1873年
創立者	Hugh Toland
上位機関	カリフォルニア大学
所在地	アメリカ合衆国 カリフォルニア州サンフランシスコ市 北緯37度45分46秒 西経122度27分29秒
キャンパス	市中心部
公式サイト	<a href="https://ucsf.edu">ucsf.edu</a>

# UCSF

テンプレートを表示

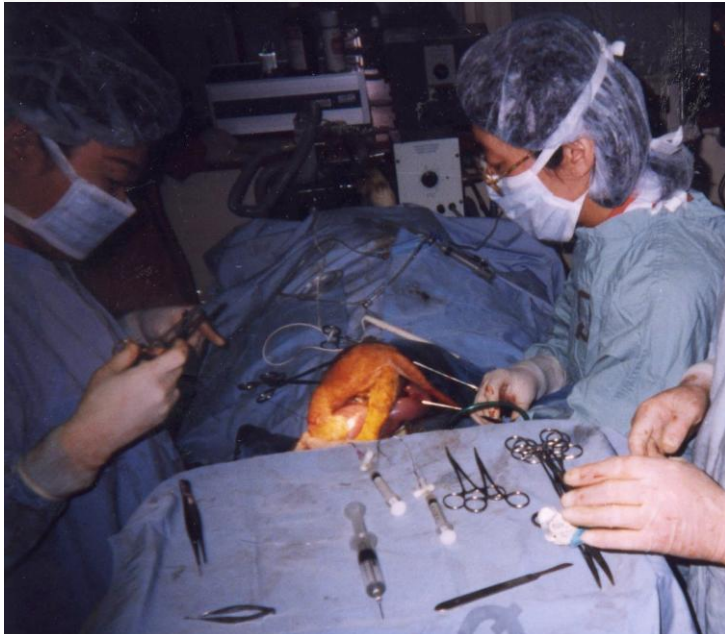
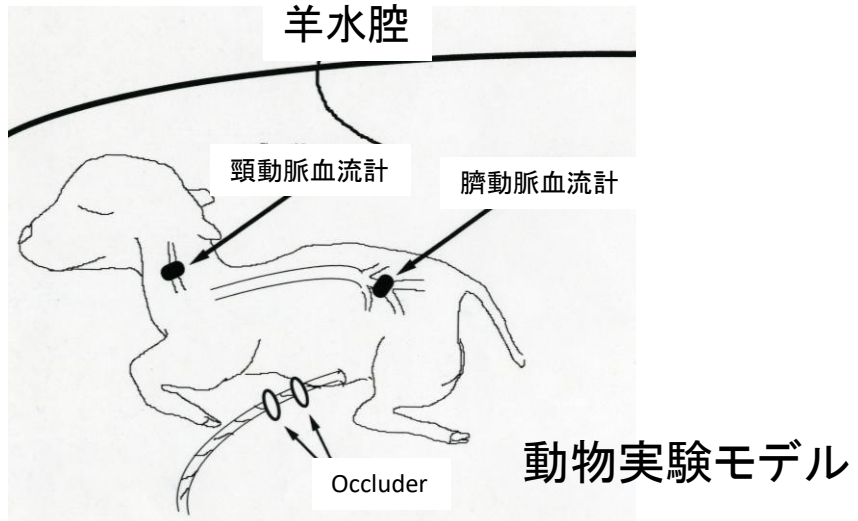
主に医学・歯学・薬学・看護学を専門にした大学院大学。



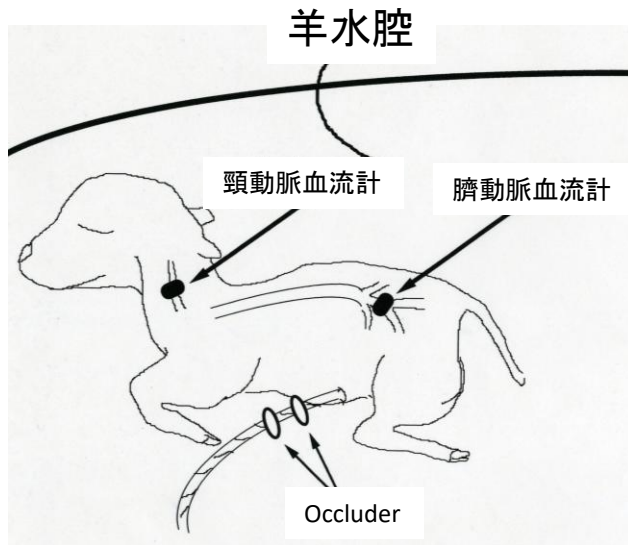
(Wikipediaより)

# お世話になった先生

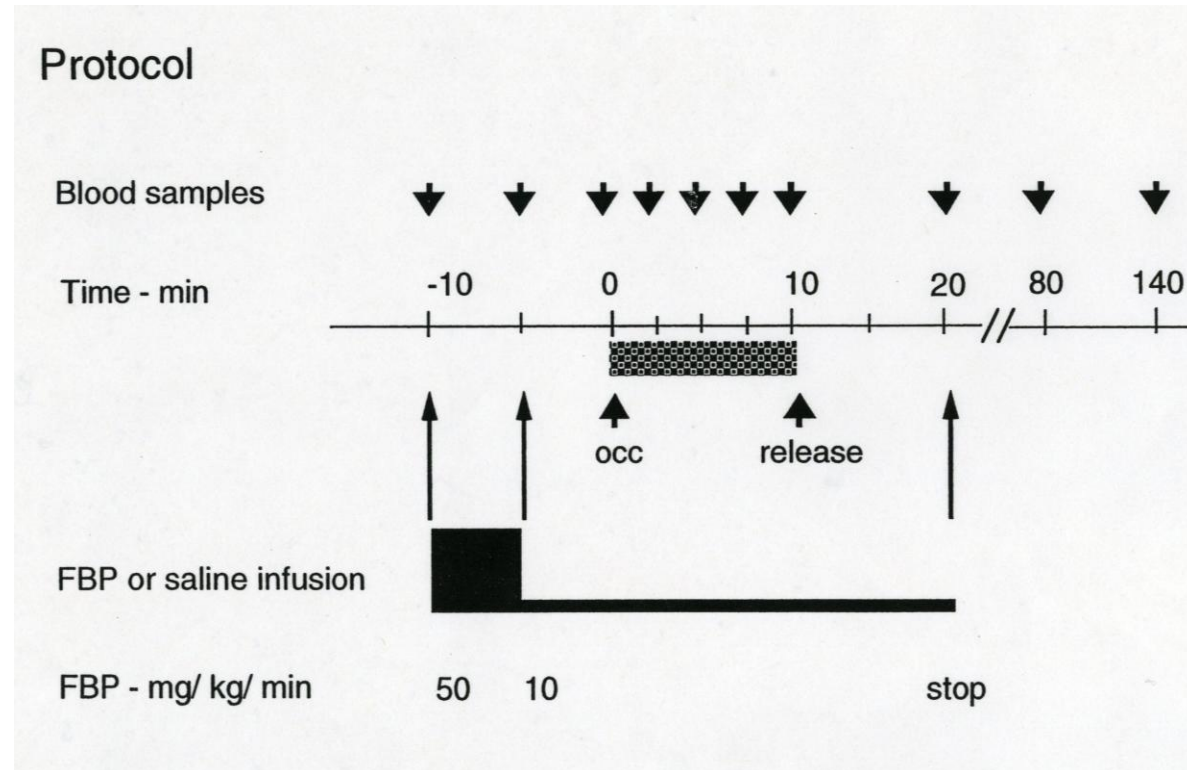
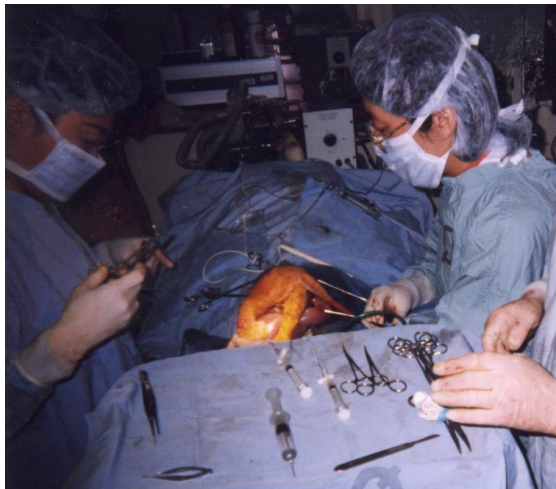
(カリフォルニア大学サンフランシスコ校 留学時)



# 低酸素虚血下でのヒツジ胎仔心筋に対するfructose-1,6-bisphosphate (FBP)の効果



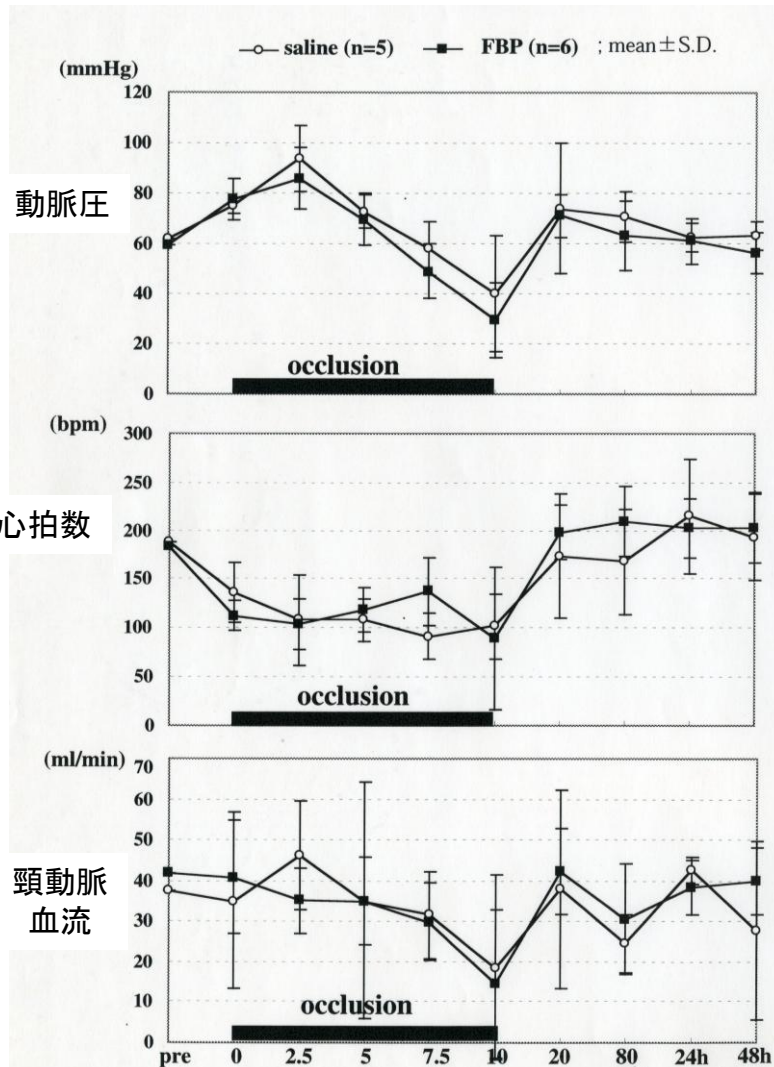
動物実験モデル



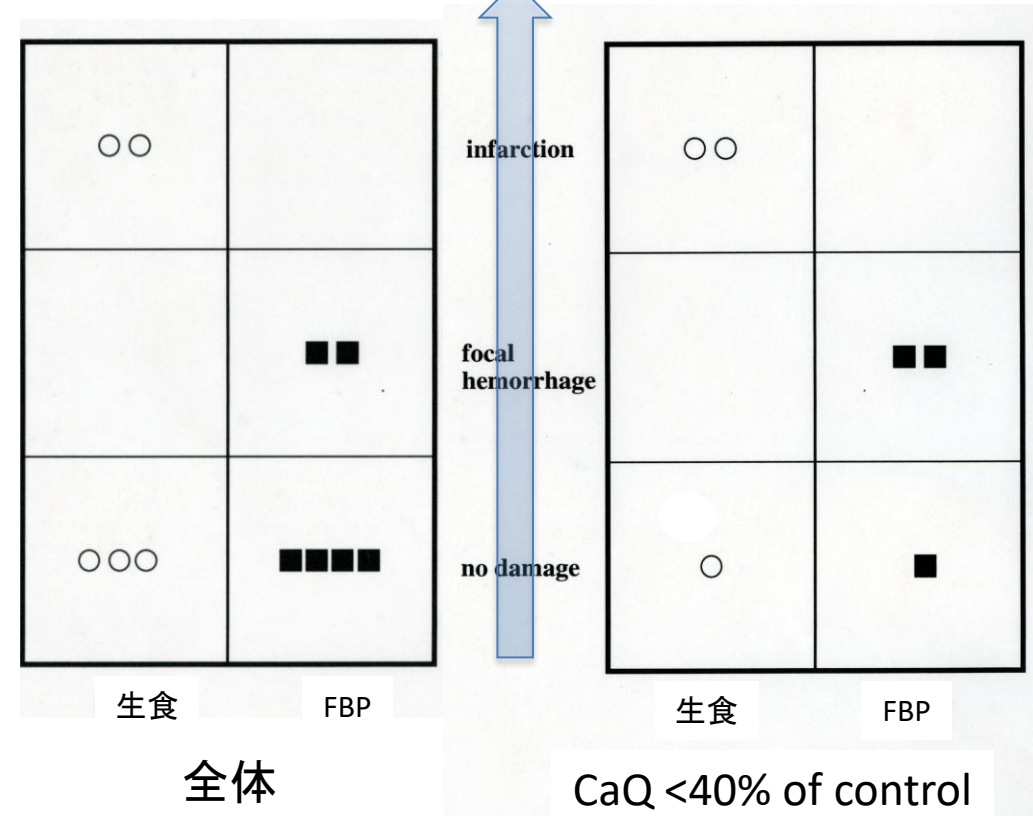
FBP 500mg/kg (n=6)または生食(n=5)  
を胎仔静脈から持続注入

# 低酸素虚血下でのヒツジ胎仔心筋に対する fructose-1,6-bisphosphate (FBP) の効果

## 臍帯圧迫による血流の変化



## 心筋傷害



低酸素虚血に対するFBPの心筋保護効果を示唆